

リレー談話室

MBI 雑感



土田 晃道 (第 18 期)

MBI 16 期の三輪博さんからバトンを引き継ぎました。三輪さんとは e-Crossroads の編集委員同士の関係です。今回のクロスロードが最終号ですのでリレー談話室のアンカーと言うことになるのかと思います。この休みに実施した旅に触れながら、感じたことを思いつくままに述べさせていただきます。

お盆休みの後半の 3 日間新潟県の南部を旅行してきました。2 日間は数十年来の馴染みの宿や村、そして山でしたので、ゆっくりとすることが出来ました。1 日は知っておられる方が多いと思いますが「大地の芸術祭」(越後妻有(つまり)アトリエンナーレ 2018)を廻りました。この芸術祭は 3 年に一度開催されるのですが、三地域 760km²の広大な里山に 360 もの世界のアーティストの作品が点在しています。ごく一部しか見なかったのですが、参加者の多い場所もあり、また参加者が思い思いのスタイルで楽しんでいるのが印象的でした。



清津峡トンネル「ライトケープ」



方丈記 4 畳半「狗鷲庵」(@美術館「キナーレ」十日町)

翻ってMBIの研修時代を振り返ると日本、米国、欧州の三地域を廻ったわけで、各地で色々な出会いがあり、良き仲間と共に日々を過ごすことが出来たと、昨日のことに思い出しました。

MBI同窓会活動に参加して30年近くになりますが、3年に一度のファミリーイベントや講演会の他に、各期の幹事さんの集まりである幹事会、趣味を同じくする方々の各種サークル、同期の会など様々な楽しい集まりが、多種多様に行われていて、世話人の皆様の献身的な尽力と、参加者の心配りで各会とも本当に実り多いものになっていると感じています。勿論、公式行事のみならず、全般にわたり菅野さんの多大な尽力にはいくら感謝しても感謝しきれない位です。有難うございます。

公式の行事は終了となりますが、同期の会はずっと続くのではないのでしょうか。また、趣味等で継続する会が出てくるものと楽しみにしています。

壮年の時代に研修を受けたことは各人の大変な財産になったことと思います。また、研修が終了した後の同窓会活動も長年活発に展開されて、壮年から老年に移る同窓生に対して、有形無形、多様な参加スタンスに応じて、多くの示唆を与えてくれました。我々、色々な付き合いのグループを持っていますが、その中でMBIは香り豊かな、精神性の高い内容を備えた一級の集まりだったのでないでしょうか。

筆者を含めて、終活に取りかかろうとしている方も多いと思いますが、行き詰ったらMBI、あるいはその仲間達を思い起こせば新たな勇気が沸いてくるように感じています。

リレー談話室のアンカーとして拙い内容でしたが、皆様方一人一人の心の中にメッセージを引き継ぎたいと感じています。本当に有難うございました。

<2018.8.19 記>

☆☆☆